

愛知県吹奏楽連盟 理事長挨拶

～2022年度 定例総会開催にあたって～

2022年4月30日

愛知県吹奏楽連盟 理事長 斎藤 和憲

2022年度（令和4年度）は、コロナ禍が始まり3年目となりました。2年前の2020年3月に全国の学校が一斉休業となり、その後もコロナウイルス感染拡大の波が押し寄せるたびに吹奏楽活動は停滞し、ワクチンの接種が進めば元通りの姿に戻るといった期待も見事に裏切られ、2年以上経った今でも、形を変えていくコロナウイルスの脅威に左右され続けています。

2021年度の愛知県吹奏楽連盟の活動は、前年度に吹奏楽コンクール等を中止せざるを得なくなった教訓から、「事業は中止しない。工夫して会場での開催を目指す」という強い気持ちをもって取り組んできました。

前期事業の愛知県吹奏楽コンクールでは、豊田市民文化会館の改装工事に伴い、中学校の部が蒲郡市民会館での無観客開催、高校の部が名古屋文理大学文化フォーラムでの有観客開催（関係者のみ）となりました。また、大学、職場・一般の部は、幸田町民会館での無観客開催となりました。愛知県マーチング大会は、大会を2週間延期させることにより、無観客開催ではありますが日本ガイシホールで開催することができました。小学生バンドフェスティバルは、出場団体の激減のため、中学校B編成と同日に開催しました。そして、これら全ての事業を有料ライブ配信するという新しい試みを行いました。

8月～11月には、ら・ら・ライブ（ららぽーと名古屋みなとアクルス野外コンサート）、愛知県大学・職場・一般吹奏楽フェスティバル、ナゴヤブルスワールド2021「栄まちじゅう音楽広場」等の事業をコロナ感染予防対策ガイドラインに沿って開催し、発表の場を確保することができました。愛知県吹奏楽セミナーは半日開催とし、会場での参加に加えてオンラインで参加することができるという新しい形で開催しました。

後期事業の愛知県アンサンブルコンテストでは、再度感染拡大の兆候が見られる中、会場での生演奏による審査と動画での審査、いわゆるハイブリッド方式での開催を試みましたが、中部日本個人・重奏コンテストは、オミクロン株による第6波により残念ながら動画審査となりましたが、本大会に愛知県代表を推薦することができました。

2021年度はほとんどの事業を中止することなく、県小中学校吹奏楽連盟、県高等学校吹奏楽連盟、県大学・職場・一般吹奏楽連盟の三部門や各委員会の柔軟な発想と、運営にあたる理事・役員の皆様のチームワークにより、見事に開催することができました。事業の実現に向けて努力していただいた全ての方々に感謝申し上げます。ありがとうございました。

しかし、コロナ禍の2年間でさまざまな問題が生じてきました。これらの問題解決のために2022年度は、以下の3点を中心に据えて活動していく必要があると考えています。

- ① 2年間続いたコロナ禍での各事業の運営を見直し、感染対策を実施しつつ、できるだけ通

常の形で開催できるように柔軟な発想で取り組む。

→ 「新しい様式の吹奏楽活動」の推進

- ② この2年間の活動で生じた各部門連盟（支部を含めて）や県吹連の財政難を、さまざまな工夫により立て直していく。

→ 「財政の健全化」に向けた大胆な取組

- ③ 令和5年度問題「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について～文化部活動の地域移行」に対応するために、愛知県吹奏楽連盟として取り組むべき具体的な対策を考えて実践する。

→ 2022年（令和4年度）がこの改革実施の1年前となる。

吹奏楽存亡の危機にある2022年度は、この「コロナ禍での新様式による吹奏楽事業の実現」「財政健全化」「学校吹奏楽の地域移行に向けた対応」という大きな三つの柱を中心に、愛知県吹奏楽連盟の活動を展開していきます。吹奏楽を愛する皆様、ぜひ皆様の考えや地道な取組を連盟の活動に生かしてください。お願いいたします。

愛知県吹奏楽連盟としては、これまで通り、小・中学校部門、高校部門、大学・職場・一般部門の三つの部門連盟を縦軸、マーチング委員会、イベント委員会、セミナー委員会、行事担当委員会、全国大会実行運営局、事務局と会計局を横軸として、縦軸と横軸が有機的に関わり合いながら活力ある活動を実践していくことに加え、今後は縦軸と横軸の関わりに指導者の世代を超えた柔軟な発想により「新しい吹奏楽活動」を展開していく必要性を強く感じています。そして、これらの愛知県吹奏楽連盟の取組をより多くの方々に理解していただくために、ホームページによる情報発信や、さまざまなメディアでの情宣にも力を入れていきたいと思っております。

2022年4月1日より愛知県吹奏楽連盟会長をお引き受けいただいている愛知県教育委員会教育長の長谷川洋先生がご退任され、新たに飯田靖先生（前県企画庁長）が就任されました。そして、引き続き会長職をお引き受けいただくという承諾をいただきました。そこで、愛知県吹奏楽連盟の活動を理解していただくために、近日中に県教育長訪問を予定しています。当連盟がスムーズに活動を遂行できるのは、県教育長が会長職をお務めいただいているからこそです。より深いご理解をいただけるように、きずなを深めてまいりたいと考えています。

最後になりますが、当連盟がここまで成長できましたのは、各加盟団体構成員と指導者の皆様の熱意によるものであり、そのことに深く感謝いたします。同時に、これほどの規模に達するまで支え続けていただいた役員・先輩諸氏のご努力に、心より敬意を表したいと思います。さらに、関連して支援していただいた全ての関係者の方々に心より感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

愛知県吹奏楽連盟の目的である『吹奏楽による音楽普及向上を図り、文化の発展に寄与すること』の意味を改めて考えることにより、更なる充実・発展を目指すことを決意するとともに、皆様方のより一層のご支援・ご協力をお願い申し上げます。2022年度冒頭での挨拶といたします。